

永治地区



手賀沼

22 29
34

永治プラザ
42

59
松山下公園
印西警察署
浦部駐在所

1

8

39

61

45

189

木刈小学校
フレンドリー
プラザ
木刈中学校

浦幡新田公園
小倉台図書館

小倉台
小学校

大塚前公園
印西西
消防署

千葉ニュータウン
中央

泉公園

千葉県立北総花の丘公園

中央駅前
地域交流館
印西警察署
中央駅前交番

原山小
原山中学校

内野小学校

船穂中学校

0m 500m 1km

190

ふれあいバス停 大成交通バス停 スワン号バス停 レインボーバス停

1 宝珠院観音堂 1棟 附:厨子1基・棟札2枚

【指定年月日】 昭和9年1月30日(追加)昭和30年2月2日 【所在地】 小倉1138

宝珠院は貞観年間(859～877)開基と伝えられる古刹ですが、現在はこの観音堂のみです。三間堂で、屋根は茅葺寄棟造です。

正面は両開きの棧唐戸があり、周囲に切目縁をめぐらしています。内部は後部2間が内陣、前部1間が外陣という構造になっています。この堂は、禅宗様式の影響を受け細部の造りは簡素化されていますが、内部の須弥壇、厨子、天井や壁上部の組物の一部にも美しい色彩装飾が施されていて、通称「光堂」と言われています。

昭和28年から29年の解体修理によって、厨子内に永禄6年(1563)の墨書銘が発見され、厨子の製作時期が判明しました。堂の建立も構造的な特徴から、ほぼ同時期と推定されます。



8 木造延命地藏菩薩坐像 1軀

【指定年月日】 昭和30年12月15日 【所在地】 和泉971(泉倉寺)

像高は139cm、カヤ材をつなぎ合わせた寄木造で、目は彫眼、体の表面に漆で金箔を貼った漆箔像です。宝珠と錫杖を持ち左足を下に垂らして座る延命地藏菩薩像は平安時代から鎌倉時代にかけてのものに多くみられ、浄土教とともに末法思想が盛んになるにつれ、広く信仰されました。

造像年代は平安時代末から鎌倉時代初めと考えられています。泉倉寺が弘化4年(1847)に井伊家より寄進を受けたといわれています。



22 浦部の神楽

【指定年月日】 昭和42年12月22日 【伝承地】 浦部2125(鳥見神社)

浦部の神楽は、10月第3日曜の鳥見神社例大祭と7月最終日曜の阿夫利神社例大祭に神楽殿で12の演目が演じられる十二座神楽です。

内容は、「神子舞」「翁舞」「神明の舞」「鉦女の舞」「恵比寿舞」「鍛冶の舞」「柵葉の舞」「二匹天狐の舞」「玉取りの舞」「大蛇の舞」「天之若戸の舞」「火男の舞(ぶつきり舞)」で構成されています。

江戸時代初期、阿蘇村村上(現八千代市村上)から伝えられたとも旗本上杉家祈禱所として、鳥見神社を鎮座した際に江戸より求め伝えられたともいわれています。



(年代) 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900

市指定有形文化財(歴史資料)

34 弥陀一尊武蔵型板碑 1基

【指定年月日】 昭和57年8月5日 【所在地】 浦部1978-1(観音寺)

この板碑は、緑泥片岩製の幅の狭い武蔵型の板碑です。下部は欠損していますが、長さ70cm、幅26cm、厚さ1.4cmあります。表面には横2本の線刻の下に、天蓋、キリーク(阿弥陀如来を示す種子)、蓮華座と建治元年(1275)12月の紀年銘が刻まれています。

※種子…仏を表す梵字の組み合わせ



(年代) 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900

市指定有形文化財(工芸品)

29 観音寺鑄銅鯨口 1口

【指定年月日】 昭和57年8月5日 【所在地】 浦部1978-1(観音寺)

この鯨口は、大きさが径16cm、厚さ5cmあり、「奉納御宝前下総国白井庄 延宝八庚申年九月吉日 岩富村白井加右衛門」の銘文が刻まれています。

*延宝8年は1680年



(年代) 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900

39

いなぎき獅子舞

【指定年月日】 昭和41年4月19日

【伝承地】 和泉G22(鳥見神社)

いなぎき獅子舞は秋分の日に和泉鳥見神社へ奉納されるもので、秋の豊作に対する感謝を表したものです。「いなぎき」とは稲の収穫を前にするという意味です。

大獅子、中獅子、女獅子の三匹獅子に道化どうけが加わり、「道化どうけの舞」「四方固しほうがための舞」「花笠はながさめぐりの舞」「綱つなくぐりの舞」が奉納されます。特に道化どうけの舞の中で道化どうけのしぐさは子孫繁栄を意味しています。



(年代) 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,300 1,400 1,500 1,600 1,700 1,800 1,900

42

つきかげの井 1基

【指定年月日】 昭和43年4月25日

【所在地】 浦部1261-2

月影の井は、鎌倉時代この周辺おおすがふんこのに勢力があった大菅豊後守正かみ氏が産湯や行水に使った水を汲んだ井戸と言いい伝えられています。神奈川県鎌倉市の「星(影)の井」、福島県二本松市の「日影の井」とともに「日本三井せい」のひとつに数えられます。



(年代) 500 600 700 800 900 1,000 1,100 1,200 1,300 1,400 1,500 1,600 1,700 1,800 1,900